

1月	豊川 愛護モニター報告	区間	右岸 0.8km ~ 7.2km
----	-------------	----	------------------

【牛川遊歩道の散策】

今年（平成 25 年）の干支は「巳」なので、豊川を「蛇」との関連で見てもよいと思いつきました。と言っても、別に学術的な考察をするわけではなく、豊川ベリの蛇の出そうなところに「まむし注意」の札くらいは立っていないかという程度の単純な好奇心で、豊川左岸を朝倉川合流地点から上流に向かって歩いてみた次第です。

もともと私は蛇が大の苦手です、このようなことは蛇に遭遇しないことが約束されている今の季節にしかやりません。結論から言うと「まむし注意」の札は見つかりませんでした。そのかわり、「牛川遊歩道」に初めて出会うことができました。

草木が生い茂り野鳥のさえずりも聞こえる河川敷の 1km 余りに渡り「枕木」が左右に埋めてあり歩きやすい遊歩道で、気分がリフレッシュできます。途中、2 人のジョギングの方とすれ違いました。ゴール近くになると視界が開けて豊川の流れ越しに石巻山が登場します。ただ、半分程がうっそうとした「竹やぶ」の間を歩く区間であり、「夏場にはいかにも蛇が出そうでもう少しすっきりと整備したら・・・」と思ったのですが、もしかしたら竹やぶが洪水時の流木などの漂流物を食い止める役目を果たすので、敢えてこのようにしてあるのかなとも考えました。以前、河川事務所の方からこの一帯は洪水の際の水の逃げ場として設定してある（「牛川霞」）との説明をおうかがいしたこともあり、物事は多面的にとらえなければなどと思いながら散策した次第です。いずれにしても、自然の息吹に満ちあふれた「夏場の牛川遊歩道」を私が歩くことは残念ながらないでしょう。蛇が出そうですから！



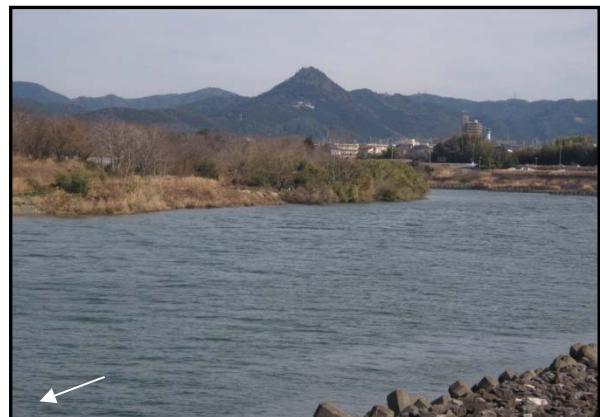
「牛川遊歩道」の入口



自然の中に枕木が 2 列に敷き詰めてあります



夏場にはいかにも「蛇」が横切りそうな（？）竹やぶ



終点あたりでは豊川の流れ越しに石巻山が見られます